合格体験談レポート

B様（会社員、ご夫婦ともに受験経験なし）
お子様（22年受験、女子、２人兄弟の第１子）
合格：農大稲花、東洋英和、立教女、浦和ルーテル　進学先：農大稲花

■お受験を決めたきっかけを教えてください。

大学受験はさせたいが　加熱する中学校受験は回避したいと思ったから。

■お受験準備はどれくらい何をされましたか。

１年以上準備しました。幼児教室と家庭教師で対策しました。また、お受験を意識した習い事ではありませんがバレエもしていました。

■実際にお受験準備を始めた時に、イメージと違うと思ったり、戸惑いを感じたことはありましたか？

通ったお教室によるのかもしれませんが、想像していた以上に一般家庭が多いことに驚きました。特に娘が通っていたお教室は似たような家庭が多かったのでピリピリした雰囲気も少なく、受験直前まで穏やかに過ごせました。小学校受験は家庭での対策が一番大事ということにもっと早く気づけていたら、準備がスムースだったかなと思います。お教室の先生も家庭教師の先生もやらせすぎなくていいというスタンスだったので、よかったですが何も知らなかったらやたらと沢山クラスを取って詰め込んでいたかもしれないです。渦中にいると自分が思っていた以上に不安商法だなと感じることも多かったです。

■お受験での一番の失敗談・苦労話を聞かせてください！

子供の準備も勉強の習慣化が身につくまではとても大変でしたが、 親は短い期間少ない情報の中から志望校を絞り、対策をすることが大変でした。 特に1年前の新年長でお受験準備を始めたときは全く情報がなく当然志望校もなく。。。 志望校をある程度絞らないと対策も難しいし、かといって行きたい学校はどこも倍率が高く絞ることもできず、後手後手になり　とにかく願書がギリギリになりました。 願書提出の１週間前は夫婦で徹夜状態でした。みなさん1年前から遅くとも春頃にはある程度仕上げていたことを知って第二子のときはもう少し上手くやろうと反省しました。

■ご自身のお受験を振り返って、ここはうまくいったなと感じることがあれば教えてください。

周りを巻き込んでお受験対策ができたことです。 早い段階で私自身が一杯一杯になり夫にヘルプを求めたので、自分一人で煮詰まらずに（それでもかなり煮詰まりましたが）夫婦と娘　三人でお受験に臨めたことです。一人では到底乗り切れなかったと思います。なのでワンオペでお受験対策をされている方は本当にすごいなと思います。そしてやってはいけないと思ってもどうしても一喜一憂してしまう模試の結果も家庭教師の先生に見せることによって、客観的に評価してフィードバックしてくれて本当に助かりました。

■ご主人に協力してもらったこと、任せていたことは何ですか。

週1回の行動観察クラスへの付き添い　願書の作成は分担（学校の特徴を配慮して）娘のメンタルケアやモチベーションの維持

合格体験談レポート

■石勝ももことの出会いのきっかけは？

INSTAGRAMです。1年の準備で幼稚舎と慶応横浜に合格されたとのことで我が家は家庭の方針から慶応受験は考えていませんでしたが、合格へのヒントがあるのではないかと思いLINEしました。
ももこさんのお子さんへの接し方の姿勢や精神は見習うところが多くあり、イライラしてしまうときは自分への戒めになり助かりました。少ない時間を有効利用すること自立を促すことの大切さ、特に時間は無い無いと思っていたのですが、出かける準備をしている時間や帰宅した後の過ごし方で十分対策ができるとわかり実生活でも取り入れるようにしました。

■進学先の学校とその学校を選んだ理由を教えてください。

東京農業大学稲花小学校です。共学校であり体験学習が多いこと、大学の研究者など科学者に授業していただけるなど科学に携わる時間が多いこと、食育に力を入れていること、そしてPTAがなくアフタースクールもあり保護者の介入はミニマムなので、今の私の生活スタイルでも無理なく通わせられそうと思ったことから決めました。

■実際に入学後の生活はいかがですか？学校に通うお子様の様子を教えてください。

入学式翌日から給食が出たり、入学前からアフタースクールがあったり、至れり尽くせりと思いますが、それでもやっぱり初めの2ヶ月ぐらいは毎日の送迎や忘れ物がないか、宿題をこなすなど、初めて体験するのでかなり大変でした。娘は毎日楽しく学校に行っています。想像していたよりも縦のつながりもあるようで上級生に遊んでもらうこともあり温かい雰囲気の学校です。授業もしっかりあり入学式翌日から6時間授業、週一回7時間授業なので金曜日は疲れたと言いますが、とにかく毎日楽しく、さらに大学の先生の授業も面白いみたいです。
コロナ禍のため子供を連れて見学のできる学校が少なかった中、実際に校舎見学に行けたこと、オンラインでの学校説明会に子供を同席させたことで、本人は私は絶対に稲花に行くと思っていたようで、後から聞いたのですが、お試験当日も絶対にマルをもらう！と強く思っていたらしく（私は全く知らず笑）その憧れの小学校に通えてとても嬉しいみたいです。 稲花の売りである英語の授業も娘は英語も全く無の状態から始めましたが、毎日授業プラス家庭での復習で自分は英語が得意だと思っているようでよかったです。

■お母様同士のお付き合いはありますか？

同じバス停から乗る方や学校解放日にお話しした方など、数名とLINEで繋がっています。LINEで情報交換しますが、みなさんお仕事をされているかたが多いのでそんなに濃密すぎる付き合いは不要で、いい距離でお付き合いできています。

■どんなご家庭、お子様が合っている学校ですか？受験を検討されている方にお勧めポイントを教えてください。

何でもかんでも親が関わるのではなく、ある程度学校にお任せすることができるご家庭があっていると思います。子供は好奇心旺盛でフィールドワークなどに積極的に参加できる子、社交的な子が多いですし、そういう子が合っているのかなと思います。

学校運営はとにかく合理的であまり無駄はないですし（毎週金曜日に学年だよりが在校生サイトにアップされてそれに１週間の活動内容や準備するもの、生活の中で気を付けてほしいことなどが記載されています。学校とのやりとりは基本的にメールです。）お仕事や生活が忙しい保護者にはとてもいいと思います。（人によってはドライに感じるかもしれませんが）

とにかく校長先生のカリスマ性が高く、学校生活が楽しくなる行事もありつつもきちんと授業もしてくださいます。本人、家族ともに大満足です。

■今お受験に向け頑張っている方へ、エールをお願いします！

親が戦略を練って対策をして受験すれば必ずお子さんに合った素敵な学校からご縁がいただけると思います。ご家庭ごとに受験校は違うので周りに流されず、受験校に合った対策をすることを心がける、子供の昨日より成長しているところに目を向ける、は渦中にいると難しく感じることもありますがとても大切なことだと思います。

お受験、お疲れさまでした！そして、おめでとうございます♡ご家族全員で掴まれたこのご縁が、親にとっても子にとっても大満足の結果だったことがよく伝わってきます。
生活の中で受験対策するコツをはじめ、ひとりで頑張らない、コツコツ努力など、私の発信を素直に取り入れて実践してくださって嬉しいです。やっぱりお受験においては、お母様の行動力が子どものチカラに結びつくなと感じました。子育ては続きますが、子どもの可能性を誰よりも信じて、導いていきましょう♡ますますのご飛躍とご成長をお祈りしています！！